

令和8年1月27日

保護者様

柏市立柏第八小学校
校長 福島 教文

学校評価アンケートの集計結果及び主なご意見への回答について

過日、保護者の皆様にご協力をいただいた学校評価の結果をご報告いたします。アンケート結果の分析と主なご意見に対する学校の見解等をまとめましたので、ご確認をお願いいたします。今回の結果を受けて、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思いますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、「児童アンケート」「保護者アンケート」「教職員アンケート」の結果を学校ホームページに掲載しております。各質問項目の結果を示しておりますので、併せてそちらもご確認ください。

1 アンケート結果について

見方：保護者 No1 (85) 保護者アンケートの質問番号1における肯定的回答（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が85%であることを意味します。

※文字数の都合で、保護者の皆様と表記すべき箇所を「保護者」としています。

【カテゴリー】学校運営・情報発信		
質問番号	保護者	No1 (98.3) 柏八小の教育活動全般について、満足していますか。 No2 (98.7) ホームページや学校だより等で、教育方針や情報をわかりやすく伝えていると思いますか。 No3 (97.9) 学校は保護者・地域と連携し、教育活動を行っていると思いますか。
	児童	
	職員	
考察	「学校運営・情報発信」のカテゴリーにおいて、すべての項目で97%を超える高い肯定的評価をいただきました。特にNo.2のホームページや学校だより等による情報発信については98.7%と最も高い評価となっており、保護者に教育方針や学校の取組が適切に届いていることがうかがえます。また、No.1の教育活動全般への満足度が98.3%、No.3の保護者・地域との連携についても97.9%と高水準であることから、学校の教育活動が保護者や地域の皆様の理解と協力のもとで円滑に進められていると考えられます。今後も開かれた学校づくりを推進してまいります。	

【カテゴリー】安全・安心な学校環境		
質問番号	保護者	No 4 (98.7) 学校は、子どもたちの安全を守るために、保護者や地域の皆さんと連携し、通学路の点検・整備や、見守り体制の充実に努めていたと思いますか。 No 5 (94.0) 学校の環境・施設等は適切に整備されていると思いますか。
	児童	
	職員	
考察	安全・安心な学校環境づくりについては、保護者の皆様から高い評価をいただいております。特に、通学路の安全確保に関する取組では 98.7%という極めて高い肯定的評価を得ており、保護者や地域の皆様との連携による見守り体制が機能していることがうかがえます。また、学校の環境・施設整備についても 94.0%の方から適切であるとの評価をいただいており、子どもたちが安心して学習できる環境が整ってきてているのではないかと思われます。今後も学校と保護者・地域が一体となって安全管理体制を構築していけるよう、努めてまいります。	

【カテゴリー】楽しい学校生活		
質問番号	保護者	No12 (95.1) お子様は、楽しく学校生活を送っていると思いますか。
	児童	No1(93.3) 学校は、楽しいですか。
	職員	
考察	保護者が感じる子どもの様子と児童自身が実感する学校生活の楽しさが共に 9 割を超えていきます。児童が楽しく安心して学校生活を送り、その様子を保護者も肯定的に受け止めている状況は、学校における教育活動全体が児童の心身の健全な成長を支えていることを示唆しているものと考えられます。 【課題と今後の改善点】 高い肯定的評価が得られている一方で、約 5~7%の児童や保護者が学校生活に楽しさを感じられていないと回答しています。個々の児童の状況に応じたきめ細かな観察と対話を継続し、全ての児童が安心して楽しく学校生活を送れるよう、教職員間での情報共有を一層充実させながら、児童一人一人に寄り添った支援体制の強化に取り組んでまいります。	

【カテゴリー】授業のわかりやすさ		
質問番号	保護者	No 8 (93.1) 職員は、お子様にとって、わかりやすく楽しい授業をしていると思いますか。
	児童	No 2 (96.1) 先生は、わかりやすく楽しい授業をしていますか。
	職員	No14 (96.8) 子どもたちにとって、楽しくてわかりやすい授業実践に努めることができましたか。
考	保護者アンケート (93.1%) では、お子様にとってわかりやすく楽しい授業が行われていると	

察	高い評価をいただきました。児童アンケート（96.1%）では、授業が楽しくわかりやすいと感じている割合がさらに高く、子どもたち自身が授業に対して肯定的な実感を持っていることがうかがえます。職員の自己評価（96.8%）も非常に高い水準にあり、わかりやすく楽しい授業実践への意識と取組が学校全体に浸透していると考えられます。三者の評価がいずれも90%を超える高水準であることから、授業改善に向けた職員の努力が子どもたちの実感につながり、それが保護者の皆様の信頼にも結びついているものと思われます。
---	---

【カテゴリー】思考・表現力の育成		
質問番号	保護者	No 6 (89.4) 学校教育活動全体を通して、今年度の重点目標「自分の考えをもって表現する力」が、お子様に身についてきたと思いますか。
	児童	No 3 (87.5) 授業中、自分の考えや思ったことをノートやプリントに表現できましたか。書けましたか。 No4 (87.2) 授業中、自分の考えや思ったことを発表したり、友だちと話し合ったりできましたか。
	職員	No1 (87.9) 子どもたちは、授業中、自分の考えや思ったことをノートやプリントに表現できていましたか。 No2 (93.9) 子どもたちは、授業中、自分の考えや思ったことを発表したり、友だちと話し合ったりしていましたか。
考察	<p>保護者・児童・職員の三者とも87%以上の肯定的評価が得られており、本校の重点目標である「自分の考えをもって表現する力」の育成に向けた取組が着実に成果を上げていると考えられます。特に職員評価では、ノートやプリントへの表現力が87.9%，発表や話し合い活動が93.9%と高い数値を示しており、日々の授業実践における指導の工夫が子どもたちの力として定着している様子がうかがえます。児童自身も87%台の自己評価を示しており、表現活動に対する自信や意欲の高まりが感じられます。保護者からも89.4%の肯定的評価をいただいており、学校での学びが家庭からも認められていることは大きな成果といえます。</p> <p>さらなる向上を目指し、表現することに苦手意識をもつ子どもへの個別支援の充実を図ってまいります。具体的には、少人数グループでの話し合い活動の機会を増やすことや、ICT機器を活用した多様な表現方法の提示など、一人一人が自信をもって表現できる場面設定を工夫してまいります。</p>	

【カテゴリー】自分も相手も大切にする		
質問番号	保護者	No 7 (89.3) 学校教育活動全体を通して、今年度の重点目標「自分も相手も大切にする」様子が、お子様に見られるようになりましたか。
	児童	No11 (95.7) 困っている友だちがいたら、優しい言葉をかけたり、助けたりしていますか。
	職員	No7 (91.1) 子どもたちは、困っている友だちがいたら、優しい言葉をかけたり、助けたりしていますか。
考察	<p>今年度の重点目標「自分も相手も大切にする」について、保護者の89.3%が肯定的な評価をされています。児童自身も95.7%が困っている友だちへの声かけや支援を実践していると回答しており、職員も91.1%がその様子を認識しています。保護者・児童・職員の三者すべてが高い評価を示していることから、重点目標が学校全体に浸透し、子どもたちの日常的な行動として定着し</p>	

	ていることがうかがえます。特に児童の自己評価が最も高いことは、子どもたち自身が思いやりの心をもち、実際の行動に移そうとする意識の高まりを示していると思われます。
--	--

	【カテゴリー】温かなコミュニケーション
質問番号	保護者 No 9 (93.5) 職員は、いつも笑顔でお子様に接していると思いますか。
	児童 No 7 (96.3) 先生は、笑顔でみんなに接してくれていますか。
	職員 No 1 8 (92.1) いつも笑顔で子どもたちに接することができましたか。
考 察	いずれの立場からも「笑顔での接し方」について 90%を超える高い評価が得られました。特に児童自身が先生の笑顔を最も高く評価している点は、子どもたちが日々の学校生活の中で教職員の温かな姿勢を実感していることの表れと考えられます。保護者・児童・職員の三者の評価が揃って高水準にあることから、学校全体で温かなコミュニケーションを大切にする文化が定着しつつあると考えられます。このような肯定的な人間関係の基盤は、子どもたちの安心感や学習意欲の向上にもつながっていくものと期待されます。

	【カテゴリー】肯定的指導
質問番号	保護者 No 1 0 (95.2) 職員は、お子様のよさやがんばりを認め、ほめて伸ばす指導をしていると思いますか。
	児童 No 9 (96.7) 先生は、あなたのよいところや、がんばったことをほめてくれますか認められますか。
	職員 No 2 0 (100) 子どもたちの長所やがんばる姿に意識を向け、ほめて育てる教育に努めましたか。
考 察	肯定的指導に関する評価は、保護者 95.2%，児童 96.7%，職員 100%といずれも高い肯定的評価を得ることができました。職員全員が子どもたちの長所やがんばる姿を意識的に捉え、ほめて育てる指導を実践していることが、児童の実感として高い評価につながっていると考えられます。児童の肯定的評価が保護者を上回っていることから、日々の教育活動の中で子どもたち一人一人のよさや努力を丁寧に認め励ます指導が子どもたちに確実に届いていることがうかがえます。また、保護者の高い評価は、学校での肯定的な関わりが子どもたちを通して保護者に伝わっていることや、学校と家庭が共に子どもを認め励ます姿勢を共有できていることを示していると思われます。

	【カテゴリー】相談体制
質問番号	保護者 No 1 1 (94.2) 職員は、お子様や保護者に対して、親身になって相談に応じていると思いますか。
	児童 No 8 (90) 先生には、安心して話をしたり、相談をしたりすることができますか。
	職員 No 1 9 (100) 子どもや保護者からの相談の際は、傾聴を心がけ、丁寧に対応することができましたか。

考 察	相談体制に関する評価では、保護者の 94.2%が職員の親身な対応を肯定的に捉え、児童の 90%が教職員に安心して相談できると感じています。さらに職員の 100%が傾聴と丁寧な対応を心がけることができたと回答しており、三者の評価が高い水準で一致していることが確認できました。この結果から、日頃の教職員の姿勢が子どもたちに安心感を与え、それが保護者の信頼にもつながっていると考えられます。
	一方で、児童の約 10%、保護者の約 6%が十分に相談しやすいと感じていない可能性があります。今後も全ての児童や保護者が安心して相談できる環境を維持・向上させるため、教職員間で多様なニーズに応じた相談方法の工夫について検討を重ね、改善に努めます。

	【カテゴリー】 基本的生活習慣（挨拶・言葉遣い）
質 問 番 号	保護者 No 1 6 (85.2) お子様は進んで挨拶をし、場に応じた言葉遣いができると思いますか。
	児童 No 1 2 (93.5) 自分から進んで挨拶をしていますか。
	職員 No 6 (48.6) 子どもたちは、進んであいさつをし、場に応じた正しい言葉遣いができると思いますか。
考 察	職員の評価は 48.6%にとどまっており、保護者や児童の評価と大きな差が生じています。この結果から、学校生活の様々な場面において、子どもたちの挨拶や言葉遣いにはまだ改善の余地があると考えられます。今後は、場に応じた適切な挨拶や言葉遣いができるよう具体的な場面を想定した指導を継続的に行うとともに、教職員が率先して挨拶の範を示しながら、子どもたちの良い姿を認め励ます取り組みを充実させていきます。

	【カテゴリー】 いじめを許さず、仲間を大切にする気持ち
質 問 番 号	保護者 No 1 5 (97.6) お子様はいじめをせず、いじめを許さず、友だちを大切にしていると思いますか。
	児童 No 1 0 (97) いじめをせず、いじめを許さず、友だちを大切に生活していますか。
	職員 No 5 (91.5) 子どもたちはいじめをせず、許さず、友だちを大切にしていると思いますか。
考 察	「いじめを許さず、仲間を大切にする気持ち」について、保護者・児童・職員の三者とも 90%を超える高い肯定的評価が得られました。特に保護者は 97.6%，児童は 97%と極めて高い数値を示しており、子どもたち自身がいじめを許さない姿勢をもち、友だちを大切にしようとする意識が定着していることがうかがえます。 今後も定期的なアンケートや面談を通して児童の思いを丁寧に把握するとともに、教職員間で情報を共有しながら、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした姿勢で、全ての子どもが安心して過ごせる環境づくりを継続してまいります。

2 主なご意見と学校の見解等

学校や教職員への励ましと温かいお言葉を多数いただきました。感謝申し上げます。今回は紙面の関係上、保護者の方から寄せられたご意見ご質問にお答えする形で、以下の内容を掲載させていただきました。その他、個別のご意見についても、検討し、改善につなげてまいります。また頂戴したご意見は、学校ホームページに「自由記述一覧」として掲載しております。そちらもご覧ください。

主なご意見	学校の見解等
【個人面談の実施時期の見直し】 現在は年度前半に個人面談が2回（春の希望者対象面談と夏の全員対象面談）実施されているが、2回の面談の時期が近すぎることや、年度後半の子どもの様子を把握したいこと、進級・卒業に向けた相談の機会を持ちたいことから、面談の実施時期を見直してほしい。	建設的かつ貴重なご意見をいただきありがとうございます。学校行事全体のバランスを考えながら、次年度に向けて検討させていただきます。
【個人情報保護に関する手続きの時期について】 入学式の写真がHPに掲載された時点では、保護者が個人写真の掲載可否について回答する前だったと思われます。写真掲載を気にする保護者もいると考えられるため、入学前に掲載可否の確認を済ませておく必要があるのではないか。	ご指摘のとおりです。この場をお借りしてお詫び申しあげます。申し訳ありませんでした。入学式の写真掲載時には、個人情報に関する保護者の意向確認が完了していない状態でした。今後は、掲載可否の確認手続きを完了させた後の運用を徹底してまいります。
【学校HPの画像保存機能に関する改善要望】 学校のホームページは、行事ごとに更新され、子どもたちの様子が垣間見えて大変有難いと思っている。学校HPに掲載されている画像が保存可能な状態になっていることに懸念を感じており、画像の保存ができないような対策を講じることができないか。	技術的には現在対応が困難な状況ですが、児童の安全確保は重要な課題と認識しております。いただいたご意見を受け、現在、市教育委員会に対して「画像保存防止機能」の実装など、システム改善を依頼しております。
【工事車両増加に伴う通学路の安全確保】 旧郵政宿舎跡地と三角公園付近の住宅建設工事の本格化により、工事用トラックの往来が増加することが予想される。道路閉鎖等の工事情報を事前に把握できる方法を講じることはできないか。	工事業者との相談により、登校時間帯については、可能な限り、通学路に工事車両を入れないことで合意形成を図っているところです。今後も工事の進捗状況を注視し、必要に応じて担当業者と協議し、可能な対策を講じてまいります。また、子どもたちへの注意喚起を行うと共に、保護者への情報提供に努めてまいります。ただし、工事に係る全ての情報を学校が把握することは困難です。お気づきの点がご

	<p>ざいましたら、保護者の皆様からも学校まで情報を お寄せください。</p>
<p>【通学路の安全確保・見守り体制の強化】 保護者が通学路で危険な状況を複数回目撃している。具体的には通学路を猛スピードで走行する車両の存在と、よそ見をして車に気づかない児童の様子が確認されており、保護者自身が児童への声かけを行う機会が何度もあった。事故は発生してからでは取り返しがつかないため、各家庭での安全指導は当然として、学校・地域・家庭が連携した見守り体制の構築など、具体的な対策を講じる必要があるのではないか。</p>	<p>ご指摘の通り、登下校を含む児童の安全確保と見守り体制の強化は、重要かつ喫緊の課題です。現在、保護者による旗振り当番とエンジョイパトロールの皆さんによる朝の見守り活動を実施いただいている。学校では、警察と連携した交通安全教室を行い、かつ必要に応じて適宜安全指導を行っているところです。しかしながら、どんな指導や対策も十分ではありません。「子どもの安全管理については保護者が一次的な監護責任を担っている」ことを念頭におきながら、今後もPTAや地域の皆さんと協議を重ね、子どもたちの命と安全を守っていけるよう対策を講じていきたいと考えます。また、保護者の皆様と手を携えて、子ども自身が自らの命を守れるよう安全意識の醸成に努めてまいります。これまでも繰り返し申し上げてきた通り、登下校時に関わらず、路上で子どもたちの危険な行動を発見した際は、「その時その場で」ご指導ください。それが一番の見守りであると考えます。</p>
<p>【学校行事やボランティア募集等の保護者への通知時期の早期化について】 学校行事やボランティア募集の案内をより早めに通知してほしい。 来年度の年間行事予定、または少なくとも4月の行事予定だけでも決まり次第、早期に知らせてほしい。</p>	<p>学校行事や各種ボランティアに多くの方がご参加いただけよう、できる限り1か月前を目安にご連絡するよう努めてまいります。年間行事予定につきましては、職員の出張等、市の行事とのすり合わせが必要なため、どんなに急いでも3月中旬頃のお知らせとなりますので、何卒ご理解をお願い申し上げます。</p>

<p>【銀杏の木の枝が切り落とされたことについて】</p> <p>銀杏の木の枝が切り落とされていて残念に思いました。</p>	<p>銀杏の木の枝を剪定した理由は、以下の通りです。枝が繁茂したことで教室から校庭の様子が見えにくくなり、また日光も遮られるようになっていました。さらに、校外学習等でバスが敷地内に入る際、枝がバスの車体に接触して傷をつけたり、枝が折れて児童の安全に影響を及ぼす恐れがあつたりしたためです。ご理解いただければ幸いです。</p>
<p>【給食でうずらの卵を使用することについて】</p> <p>うずらの卵は窒息事故が起こりやすいのに給食から無くならないのはなぜか。</p>	<p>文部科学省は通知で指導の徹底を求めていますが、うずらの卵の使用禁止は命じていません。これは、窒息を起こす可能性のある食べ物が、ナッツ類、ブドウ、プチトマト、もち、こんにゃく、ソーセージなど多岐にわたるためです。問題は特定の食材ではなく食べ方にあり、小学1年生は歯の生え代わり時期で前歯がない子も多く、よく噛めずに吸い込んでしまうことが原因とされています。</p> <p>文部科学省は「食に関する指導の手引」や各ガイドラインにおいて、安全に配慮した食事の指導方法や窒息への対処方法を示しています。それを受け、学校では、よく噛んで食べることの指導、食事の際は教職員が教室にいて見守ることとしており、今後も徹底、継続していきます。</p> <p>また、窒息への対処方法の研修を職員向けに実施し、万が一の際にも対応できる体制を整えていきます。</p> <p>ご家庭でも、食事の際は、お子様によく噛んでゆっくり食べることをご指導いただければ幸いです。</p>

【漢字の学習について】

夏休みなど長期休業中に宿題となるスマイルネクストドリルの漢字学習なのですが、指で書いた文字を機械が上手く読めずにいつまで経っても予測変換ができず時間がだけが過ぎていく、子どもの学習のモチベーションが下がるということが続いている。逆に何となくそれっぽい形の文字を書いたら予測変換で出てしまったということもあります。漢字に関しては、紙ベースで学習するほうが子どもたちにとって良いように思う。

スマイルネクストドリルの文字認識精度に関する問題につきましては、市教育委員会を通じて業者へ改善を要請いたしました。紙ベースでの漢字学習には、筆圧や止め・はね・払いを意識した丁寧な文字練習ができるという利点があります。今後も紙での漢字指導を中心に、デジタル教材との併用を継続的に行ってまいります。お子様の確実な漢字習得に向けて、それぞれの長所を活かした学習方法を工夫してまいりますので、ご理解をお願いいたします。